

2025年度(令和7年度)を迎えて

四街道中学校地区社会福祉協議会 会長 調 知博

新年度を迎えるにあたり、ご挨拶申し上げます。

日頃より、当地区社協の活動にご理解とご協力を賜り、また、広報紙“ほのぼの”をご愛読いただき御礼申し上げます。

昨今、社会を取り巻く環境の変化により孤立した生活が広まり、生活課題が顕在化しています。当地区社協は、住み慣れた地域で安心して生活できるよう地域住民や地区社協の構成団体の皆様と地域の生活上の困りごとなどの生活課題を解決していく事を目指しています。そのためには、これら

の皆様と積極的に情報共有・協働していく事が大切なばかりでなく、昨年度策定した“地区社協ガイド”や本紙及び Facebook などの SNS を活用して地区社協についてのご理解を深めていく事であると認識しています。

そこで、今年度はこれらの課題を解決すべく取り組むとともに、他地区社協等と積極的に情報交換を行い、さらなる活動につなげていきたいと考えていますので、引き続き皆様のご理解・ご協力を賜りたいと存じます。

こどもクッキングスクール開催

2月15日(土)わろうべの里にて“こどもクッキングスクール”を開催しました。参加者は4歳から11歳までの子どもさんと保護者で19人。ボランティアは8人でした。

最初にチョコレートクランチを作りました。白と黒のチョコレートを湯煎してとかし、砕いたビスケット・コーンフレークといちごのパウダーを入れてかき混ぜ、アルミカップに盛り付け冷蔵庫へ。

次におにぎりづくりです。一人3個分のご飯におかか、鮭フレーク、梅干しなどを入れてタワラ形や三角形、ハート形など個々に異なる形のおにぎりを握り海苔を巻いて完成。出来上がりを皆さんでいただきました。

1年生で3個のおにぎりを平らげた児童もいました。楽しく自分で作った料理をみんなで食べると格別のおいしさだと口々に話していました。(記/調)



みんなで楽しくクッキング中



みんなで食べるとおいしいね



おいしくできた
チョコレートクランチ



お好みの形
に完成した
おにぎり

『いきなり団子』つくりました！

2月5日(水)午前9時30分から、わろうべの里食のスタジオにおいて、みんなの料理教室を開催しました。

メニューは熊本県の郷土料理『いきなり団子』。輪切りにしたサツマイモにあんこを乗せたり、挟んで生地で包み、蒸したお菓子です。講師は山岸和佳男さんで、今回で4回目となるみんなの料理教室を担当して下さいます。

参加者は23名。6つのグループに分かれて賑やかに楽しく、そして真剣に調理しました。自分が作った団子が判らなくなるように、蒸す前にごまを表面につけるのですが、若いお母さん方は可愛らしくデザインしてい

て、みなさんから「すごい！」「感性がいいね」と注目を浴びていました。

出来上がった『いきなり団子』をみんなで試食。山岸さんが厳選したべにはるかとおんこが調和した優しい甘みと、生地に含まれた少量の塩が絶妙のバランスで、みなさん「おいしい！」を連呼していました。

参加者からは「みんなでワイワイ言いながら作るのが楽しい」「このような機会がないと郷土料理は食べられないので参加して良かった」「和菓子の料理体験は少ないので、参加できて良かった」などの声が聞かれました。

(記／西塚)



講師の山岸和佳男さん



みんなで賑やかに楽しく調理中



出来上がった
「いきなり団子」

満員御礼ふれあい落語交流会

3月2日(日)わろうべの里多目的ホールにおいてふれあい落語交流会を開催しました。今年も、四街道出身の三代目桂文雀さんをお招きして、三つの演目を披露していただきました。

前半は『子ほめ』『雛鰯(ひなつば)』、どちらも子供との関わりで、付け焼き刃の知識で失敗してしまったり、上辺だけで教養を取り繕っても上手くはいかないという、滑稽なお話です。

後半は『御神酒徳利』、こちらは前半とは違って、嘘や誤魔化しがどんどん大きな成功を導いてしまうという、スリルのある展開が楽しいお話。稻荷大明神の厳かなお言葉、全部の意味は判らないけれど、何だかとってもご利益のある凄そうなことをスラスラとしゃべっている、あの迫力には圧倒されてしまいました。

生の落語を間近で鑑賞できる機会を体験していただきました。参加された皆さんも、笑ったりハラハラしたり感心したり、楽しい時間を過ごしていただけたなら幸いです。

(記／地域交流部会 中川)



熱演中の桂文雀さん

こんにちは！ 民生委員・児童委員です②⑥

○四街道中学校地区には…

四中地区の民生委員・児童委員、主任児童委員の定員は27名ですが、それぞれ担当地区があり、17地区に分かれています。

皆様のお住まいの地区には1名から4名の民生委員・児童委員がいます。主任児童委員は定員2名で2地区に分かれています。

四中地区では毎月定例会を開催し、連絡調整・必要な資料の配付・情報の収集等を行っています。

○四中地区ってどこからどこまで？

四中地区は線路の南側の西部分です。

自治会でいうと、鹿渡二区、三才、鹿渡、和良比、第2グリーンタウン、めいわ5丁目、わらびが丘、向南台、ヴェルデ四街道、美しが丘1丁目、美しが丘2丁目、美しが丘3丁目、ひかりが丘西、めいわ東、和良比西、となります。かならずしも住居表示名ではないので住居表示をみただけではわからなかったりしますが、古い地名だったり、分譲地の名称だったり、歴史的な意味があったりします。

四中地区には商業・住宅地区だけではなく農村地区もあり、古い住宅が残っている地区もあります。

季節の花々、古いお寺や神社、ちょっと素敵なお店とか、見どころはいろいろ。

いつものお買い物や通勤・通学のルートだけではなく、ちょっと足を延ばして歩いてみてはいかがでしょう？新しい発見があるかもしれませんよ。

(記／木村)

民生委員・児童委員通信5

志津美佳子 ☺

世界地図で見ると 小さい日本列島の…



真ん中西側千葉県の



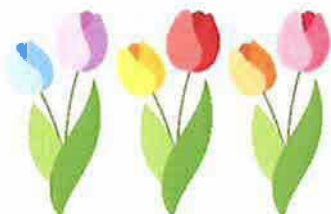
真ん中辺にある小さい 四街道市には



六つの中学校地区があり 定員140名の民生委員が います(四中地区は27名)



四中地区社協
フェイスブック



ことばの豆知識

気になる言葉違い二つ

最近気になる言葉違いが二つあります。一つは「頭が真っ白になる」です。困惑していることの表現でしょう。それなら「頭の中が真っ白になった」と表現すべきです。頭が真っ白は白髪です。それは白髪染めで治せます。

もう一つは干支と十二支を混同して使っていることです。

「今年の干支に困んで、幼稚園児が蛇のお絵描きをしています」なんてテレビで放送していますが、蛇は十二支です。干支は乙巳（きのと・み）です。

（記／志村）



ご寄付ありがとうございました(令和7年1月~3月迄)

四中地区社協の活動をご支援くださりありがとうございます。

地域福祉活動に活用させていただきます。

秋草産婦人科医・藤原小児科医院（子ども食堂へ）	30,000円
ふれあい落語交流会募金箱	7,189円
理事会募金箱	5,700円
合計	42,889円

*寄付は所得税控除の対象になります。詳しくは四中地区社協事務局まで問い合わせください。電話 070-1537-5827



四中地区社協の事業予定（4月～7月）

事業名	月 日	場 所
四中地区社協総会	5月24日（土）	わろうべの里
友愛訪問	5月中旬～下旬	民生・児童委員が対象者宅訪問
ファミリーコンサート	6月1日（日）	わろうべの里
キッズコンサート	6月29日（日）	わろうべの里
福祉講座（健康体操）	7月10日（木）	わろうべの里
夏休み ほのぼの学習広場	7月29日（火）～ 31日（木）	わろうべの里

上記の他、ほのぼのサロンは毎月第2・4水曜日、ふれ愛サロンは毎月第2・4金曜日、いちごサロンは毎月第4木曜日、ほのぼのテーブルは毎月第2・4土曜日に開催しています。ほのぼの学習広場は、ほのぼのテーブル終了後に開催します。



編集後記

「緊急入院しました。しばらくは出てこれなくなります。……」編集長からのLINEが飛び込んできました。「お大事になさってください」そう返した私たちは、そのうち退院してまた元気な姿を見せてくれるものだとかばかり思いこんでいました。しかしそれからわずか数日後かえらぬ人となってしまいました。にこにこしながら編集会議を取り仕切り、作業を淡々とこなしていった編集長の姿が目には浮かびます。最後になった「よろしくお願いします」とのLINEの言葉。私たち、ちゃんと出来ていますよね。お返事がいただけないのが寂しいです。（記／木村）